対象児　0歳児　みにばら組
作成者　進藤早苗
作成日　2024年2月23（月）

自分でしたい気持ち

〇ねらい　身の回りのことを自分で出来る喜びを感じる。

振り返り

自分でするという気持ちがますます増えてきた子ども達。手洗い時には、水道も自分で水を出している姿が見られました。子ども達の身長では、まだ蛇口まで届かないのにな？と不思議に感じよく見て見ると、それはゴミ箱と水道の隙間にある細いところから体を入れて水道をひねっていました。毎日手を洗っていて、いろいろな水道の場所を使って、自分でしようと手を伸ばして、自分で届く場所を探しあてたんだと感じました。園庭へ行く時に靴を履く時も、場所を移動して、壁を持ちながら手で支え、立って一人で履く姿を見つけました。いつもは座って足入れるよ伝えていましたが、何も言わずに、行動を見守りました。立って履くと、すぐ履け、自分で出来る事に気付いたようです。自分で履けたという達成した瞬間を一緒に感じることが出来ました。子どもの力を信じ、見守る事の大切さを再確認させられました。これからも出来た！という瞬間を逃さずに子ども達に声をかけていけるような、達成感も感じていけるようなかかわりや、困っている時にはさりげなく援助し、子ども達とさまざまな気持ちを共有することが出来る保育者でいたいなと感じました。

（自立心、健康な心と体、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、思考力の芽生え）